

# きらめけ 日大東北

## 異動・退職 教職員

**花里 昌昭** [地歴公民]  
はなさと まさあき

在籍期間  
1992年4月1日～2026年3月31日

Well-beingという言葉があります。心を幸せな状態に保つには、「なんとかかなる、ありのまま、やってみる、ありがとう」を意識した行動が重要だそうです。皆さんの幸せを願っております。[日本大学山形高等学校へ異動]



**兵藤 淳一** [数学]  
ひょうどう じゅんいち

在籍期間  
1986年4月1日～2026年3月31日

39年間の勤務で数学教育に深く携わってまいりました。数と式から微分積分まで幅広く指導し、それぞれに個性とやりがいを感じてきました。



**大野 明美** [国語]  
おのの あけみ

在籍期間  
1989年4月1日～2026年3月31日

何気ない日常の中に愛おしいものがたくさんあることを、この学校で学びました。ありがとうございました。日大東北高校の益々のご発展をお祈りしています。



**高橋 敏行** [国語]  
たかはし としゆき

在籍期間  
1995年4月1日～2026年3月31日

「母校日大東北」で過ごした時間は、私の中で宝物のようにキラキラ輝いています。日大東北の発展と先生方・後輩の皆さんの益々のご活躍を心より祈っております。ありがとうございました。



**伊東 伸泰** [理科]  
いとう のぶやす

在籍期間  
1992年4月1日～2026年2月5日

部活、受験…幾度となく分厚い壁に挑戦する皆さんと出会え、勝ち取ってくれた喜びの一つは私の宝物です。どうか、一生語り合える仲間を作ってください。「思い出の力」は、心と未来を支える究極の処方箋ですから。



**大山 友希奈** [国語・芸術]  
おおやま ゆきな

在籍期間  
2018年4月1日～2026年3月31日

日大東北高校で沢山のひとと出会い、何物にも代えがたい経験をさせていただきました。母校に戻ってこられたこと心から感謝しています。「きらめけ 日大東北」ずっと応援しています。



**根上 泰明** [理科]  
ねがみ やすあき

在籍期間  
2025年4月1日～2026年3月31日

今年度ももちまして日大東北高校を離れることとなりました。1年という大変短い時間ではありましたが、大変お世話になりました。これからの皆様のご活躍を心よりお祈りいたしております。



**三嶋 芳樹** [理科]  
みしま よしき

在籍期間  
2005年4月1日～2026年3月31日

長い間お世話になり本当に有難うございました。日大東北生の真剣に学ぶ姿は他の学校をしのいだと思います。今後はそれにチャレンジ精神を加え大きく飛躍されることを願っております。



**二瓶 寛** [保健体育]  
にへい ひろし

在籍期間  
2009年4月1日～2026年3月31日

贈る言葉「一切唯心造」すべての出来事は自分の心の持ち方で変わります。何事も全力で楽しむ気持ちを忘れずに高校生活を過ごしてください。また会えることを楽しみにしています。



**菅野 智子** [芸術]  
かんの ともこ

在籍期間  
2014年4月1日～2026年3月31日

新卒で右も左もわからない状態だった私を先生方や生徒の皆さん、職員の方が育ててくださりました。日大東北高校は第二の母校のような存在です。本当にありがとうございました！



**土屋 裕** [国語]  
つちや ゆたか

在籍期間  
2019年4月1日～2026年3月31日

日々、新たな学習形態を学ぶ7年間でした。学習のみならず、水害・コロナ・猛暑と新たな「自然」への対応にも戸惑い、「命は人を待つものかは」と隠者生活に入ることを決めました。大変お世話になりました。



**亀田 大暉** [数学]  
かめだ ひろき

在籍期間  
2021年4月1日～2026年3月31日

4月からは地元に戻り、教員を続ける運びとなりました。5年間お世話になった日本大学東北高等学校を離れることとなりますが、所属が変わっても日大東北の皆さんの活躍を願っています。



**渡邊 元気** [数学]  
わたなべ げんき

在籍期間  
2021年4月1日～2026年3月31日

母校である日大東北高校で働けたことは、私にとって彩りある幸せな毎日でした。大変お世話になりました。日大東北高校の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



**峯村 智志** [保健体育]  
みねむら さとし

在籍期間  
2022年4月1日～2026年3月31日

母校でお世話になった先生方と働き、後輩たちを指導できたこと、とても幸せでした。これからの皆さんのさらなるご活躍を心より願っております。



**草野 陸** [国語]  
くさの りく

在籍期間  
2023年4月1日～2026年3月31日

母校で教員として働かせて頂き、教員・生徒の皆さんのおかげで本当に美しく代えがたい三年間を過ごせました。一生忘れません。ありがとうございました！



**梅津 大揮** [地歴公民]  
うめつ だいき

在籍期間  
2023年4月1日～2026年3月31日

3年間大変お世話になりました。日大東北高校で得た経験を生かし、新しい職場でも精進してまいります。教職員・生徒の皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。



**澤田 知志** [数学・情報]  
さわだ ともゆき

在籍期間  
2023年4月1日～2026年3月31日

母校でもある日大東北で教員をスタートして、生徒のみなさんと一緒に成長した3年間でした。これからも皆さんのご活躍を期待しています。ありがとうございました。



【コース3年生「総合的な探究の時間」ポスター発表会

## 自己の生き方を考える探究活動

上野動物園の双子のジャイアントパンダ、シャオシャオとレイレイが中国に返還されることになり、1月27日に日本を出発した。28日には中国の施設に到着して、現地の人々の前で公開されたとのことである。



学校長 佐々木 稔

2頭は2021年、上野動物園で雄リーリー、雌シンシンの間に誕生した。繁殖研究目的で貸与された親から生まれたため、所有権は中国にあるのだそうだ。昨年6月に和歌山県の「アドベンチャーワールド」で飼育されていた4頭が既に中国に戻っているため、今回の返還で国内からジャイアントパンダがすべていなくなってしまった。最終公開日となった25日には、24.6倍の抽選に当選した4,400人が動物園に集まり、愛らしいパンダとの別れを惜しんだという。

時をほぼ同じくする1月23日、本校では第2回目となる「探究活動ポスター発表会」が開催された。「総合的な探究の時間」に1年間取り組んできた3年生の成果発表会である。

当日は日本大学工学部から借用した130枚のボードを体育館に搬入。ポスターが一斉に展示されると、会場は企業のイベント会場さながらの景色となり、3年生は個人が自由に設定したテーマについて、3分間の制限時間の中で1・2年生に説明をした。テーマはスポーツ・音楽・趣味・健康などのほか、自然災害・地域課題・政治・経済など多岐にわたり、独自の着眼点をもとに、最新のPC技術も駆使して色彩豊かなポスター

にまとめ上げ、会場内の人々と学びの成果を共有した。今回は昨年にも増して、対話的で深い学びの実践の場になったように思う。生徒の努力精進に心からの拍手を贈りたい。

探究学習に先んじて実施された「総合的な学習の時間」は、2000年(平成12年)から段階的に導入されたもので、私自身が児童・生徒であった時には、そのような授業は皆無だったが、思い起こせば小学校の時には「学習発表会」なるものがあって、模造紙に色マジックで研究内容を手書きで書いて、ステージの上でグループ発表をしたことが思い出される。そのとき私の班は、時の田中首相が中国に行ったこと、日本と中国が仲良くなったことしるしに、72年10月にランランとカンカンという2頭のパンダがやってきたこと、その食べ物や飼育の難しさなどを発表したものであった。両国間の友好の懸け橋となったパンダは、その後国内の人気者となって、子供たちばかりでなく、多くの日本人の心を和ませてくれた。(この2頭は後に剥製となり多摩動物公園で展示されている)

あれから半世紀余の月日が経ち、世界の情勢も学校教育の内容や方法も大きく変わったが、協働して学びに取り組んだ日のことは、生涯記憶に残る。今回発表に参加した3年生も、あの時の活動が自己の生き方という意味をもっていたのか、後になってしみじみ思う時ドキッと来るのではないかと。令和7年度探究活動ポスター発表会が、学びを共有したすべての生徒の大きな成長と活躍に寄与することを、心から願ってやまない。

## 編集後記

日大東北73期生429名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまで日大東北高校を牽引してきた3年生の姿はとても頼もしく、3年間での大きな成長を感じられる素晴らしい卒業式となりました。新天地でのますますのご活躍を祈念しております。今回も皆様のご協力により128号を発行することができました。関わってくださった皆様に深く御礼申し上げます。

Instagram  
はじめました!  
最新情報は  
こちらから



TOH.KOHO

## 日本大学東北高等学校

Nihon University Tohoku High School

〒963-1165  
福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地  
TEL. 024-956-8840 FAX. 024-956-8873  
https://www.tohoku.hs.nihon-u.ac.jp

イベントカレンダー  
Event Calendar  
2026

1月 January

8日(木)~9日(金)	冬期進学講座(Ⅱ1・2年) 冬期特別補習(Ⅱ3年希望者)
10日(土)	成果テスト(Ⅱ1・2年)
13日(火)	始業式 進路ガイダンス(11年) 成果テスト(Ⅱ2年) 強化部集会
14日(水)~28日(水)	特別時間割(13年)
14日(水)	大学入学共通テスト激励会(Ⅱ)
17日(土)~18日(日)	大学入学共通テスト
20日(火)~21日(水)	本校学業推薦入試
22日(木)	本校一般入試・体育推薦入試
23日(金)	総合的な探究の時間ポスター発表会(Ⅰ)
23日(金)~28日(水)	特別時間割(Ⅱ3年)
25日(日)	第3回英語検定
28日(水)	薬物乱用防止講演会(1年)
29日(木)	自宅学習開始(13年)
31日(土)	第3回漢字検定

2月 February

14日(土)	第2回数学検定
18日(水)	口ハス探究プレゼン大会(Ⅱ1・2年)
21日(土)	予餞会
27日(金)	賞状授与式・卒業式予行演習

3月 March

2日(月)	第73回卒業式
3日(火)~6日(金)	3学期期末試験
10日(火)	教科書申込み・写真撮影
12日(木)~16日(月)	春期特別授業
19日(木)	3学期終業式・離任式
23日(月)	新入生基礎学力確認テスト
24日(火)	新入生ガイダンス

令和7年度 第73回  
卒業証書授与式

令和8年3月2日(月)午前10時より、日本大学工学部大講堂で「第73回卒業証書授与式」が執り行われた。  
今年度は429名の生徒が卒業し、卒業生総数も39,830名となった。  
式では、卒業証書授与に引き続き「日本大学学長賞」3名および「日本大学東北高等学校校長賞」1名の受賞者に賞状と記念品が贈られた。  
その後、校長式辞や在校生代表送辞、卒業生代表答辞があった。  
春の訪れを感じるような暖かく穏やかな佳き日に卒業を迎えられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。



卒業証書授与 卒業生代表 緑川智子さん



aozora dayori  
青空だより

相談室「青空」カウンセラー  
伊藤 充



友達って何だろう。

だいぶ前のあるインタビュー記事から、ロックバンド「ザ・クロマニヨンズ」ボーカルの甲本ヒロトさんの言葉を引用して紹介したいと思います。学校に居場所がない子に言ってあげられることは?との問いに対しての彼の答えが次の通り。「居場所があるよ。席あるじゃん。そこに黙って座ってりゃいい。たまたま同じ年に生まれて同じ部屋に集められただけ。趣味も違うのに友達になれるわけない。山手線に乗って、はいこの車両全員仲良く友達なんて言われても、いや偶然今一緒に乗ってるだけなんですけどってわけ。ただ、友達じゃないけど喧嘩せず自分が降りる駅まで平和に乗ってられなきゃダメじゃない?その訓練じゃないかな、学校は。友達でもないし、仲良しでも好きでもない連中と、喧嘩しないで平穏に暮らす練習をするのが学校じゃないかな。だからいいよ、友達なんていなくても。」

いかがでしょうか。日頃から生徒さんの話を聞いていると、いつも一緒にいる誰かがいないと不安で、一人ぼっちだと思われたいから、話が合わないとか無視されたとかちょっとした行き違いが生まれると、もう自分の居場所はここにはないと思いがちなあと感じます。一人で勉強していいんですよ、ここ学校なんだから。友達って

今の自分の寂しさを埋めるだけの存在じゃないはず。友情はお互いにキープする努力が大切。物理的に距離が近いことだけが友達ではないのです。相手は自分と同じことを考えたり感じたりしているわけではないので、それゆえにコミュニケーションが生まれるのです。「友達は作るものではなくて、友達になるものだと思う。」とある生徒が呟いた言葉が、いまだに私は忘れられません。人生には良い時も悪い時もありません。良い時も悪い時もそれを他の誰かと分かち合えることができたら、人生が豊かなものになるのは間違いなく確かなこと。どんな人も、きっと気の合う人に人生のどこかで出会えるはず。焦らなくていいのだと思います。

ご心配なことがありましたら、いつでもどうぞお気軽にご相談ください。お待ちしております。

- 生徒支援室 TEL.024-956-8852
- 分室「青空」(保健室内…カウンセラー常駐) TEL.024-956-8850

## 送辞

早春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本日、晴れてこの日本大学東北高等学校卒業式を迎えられた第七十三期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。また、本日この場にご臨席賜りましたご来賓の皆様、先生方、そして卒業生のご家族の皆様、心よりお祝いと感謝を申し上げます。

先輩方が卒業され、この学び舎でお会いできなくなると、寂しさが込み上げてきます。仲間とともに競い合い、成長を重ねた部活動。クラス一丸となって勝利を目指した体育祭。全員で創り上げ、大いに盛り上がった文化祭。そして何より、かけがえのない仲間と過ごした何気ない日常。先輩方は、この三年間で数えきれないほど多くの思い出を築いてこられたことと思います。

本日、晴れやかな表情でこの場に立たれている先輩方のお姿を拝見し、さまざまな思いが胸に込み上げてきます。私たちは先輩方から多くのことを教えていただきました。その中でも、特に心に残っているのは「優しさ」です。初めて部活動の見学に行ったとき、先輩方は私たちに笑顔で優しく声をかけてくださいました。入学したばかりで緊張していた私たちは、その温かい対応に心がほぐれ、安心することができました。また、私が高校で初めて生徒会に所属した際には、前会長、前副会長の先輩方が、話しかけやすい雰囲気をつくってください、仕事の進め方も丁寧に教えてくださいました。そのおかげで、不安を抱えることなく活動に取り組むことができました。このように、先輩方からいただいた数々の思

いやりや励ましは、今も私たちの支えとなっています。本当にありがとうございます。私たち後輩は、そんな素晴らしい先輩方の背中を見てきました。その姿勢をしっかりと受け継ぎ、次の世代へとつないでいきます。今度は私たちが学校を支え、よりよい伝統を築いていく番です。その自覚と責任を胸に、これからの学校生活に励んでまいります。

さて、近年、AIをはじめとするさまざまな技術が急速に発展し、社会は大きく変化しています。これから先、先輩方の前には新たな環境や未知の課題が待ち受けていることでしょう。努力しても思うようにいかないこと、立ち止まってしまうこともあるかもしれません。しかし、先輩方はこれまで、夢や目標の実現に向けて厳しい練習や勉強に真摯に取り組み、数々の困難を乗り越えてこられました。その強い心と積み重ねてきた努力は、これからの人生においても必ず大きな力となるはずです。それでも、もし辛さや不安に押しつぶされそうになったときは、どうか一人で抱え込まず、周囲の人を頼ってください。支えてくれる人は、必ずそばにいます。そしてその先には、きっとまた笑顔で過ごせる日々が待っているはずです。

在校生を代表し、先輩方の未来が希望に満ちた素晴らしいものでありますこと、そしてこれからのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和8年3月2日

在校生代表 箱崎 太嘉(須賀川三中出身)



それでも続けてこられたのは、同じ目標に向かって努力する仲間との存在や、見えないところで支えてくれる人たちの力が、私を前へ進ませてくれたからです。

人は結果に目を向けがちですが、私たちを支えているのは、外からは見えない過程や、報われないと感じた時間の積み重ねです。努力が報われないと感じた瞬間、自分だけが取り残されているように思えた夜、それらすべてが、今の私たちを形づくる大切な一部なのです。

本日、私たちはそれぞれ異なる道へと進みます。それぞれが目にする環境や景色は次第に変わるとは思いますが、それでもここで学んだこと、仲間と共に悩み、自分自身と対話し、乗り越えてきた経験は、私たちの中に確かに残り続けます。

卒業を前に、ある先生から「マイナスに挑戦する」という言葉をいただきました。それは、思い通りにいかず、自分が弱さを感じたときこそ、そこから逃げずに一歩を踏み出すことの大切さを教えてくれる言葉でした。弱さを抱えたまま進むとすることこそが、真の強さなのだ、私は受け止めています。今日、ここにいる私たちは完成された存在ではありません。迷い、立ち止まり、ときに失敗しながらも、学び続ける存在です。だからこそ、挑戦を大切にしながら、それぞれの未来を自分の足で切り拓いていきます。

在校生の皆さん。学校生活では、思い通りにいかないことの方が多

いかかもしれません。そんな時こそ、一人で抱え込まず、誰かに頼ることを大切にしてください。きっと、前が少し明るく見えるはずですよ。

最後になりますが、私たちを信じ、導いてくださった先生方、そしていつも変わらず支えてくれた家族に、心から感謝申し上げます。迷いの中でも前へ進めたのはいつでも立ち戻れる場所があったからです。その支えに応えられるよう、私たちはこれからも、それぞれの場所で感謝の気持ちを持ち、挑戦を重ねていきます。

この学校で得たすべての学びを胸に、私たちは「マイナスに挑戦する

## 3学年主任より

### 共に成長した3年間

「担任の先生とともに、みなさんの成長のお手伝いを精一杯頑張りたい」と入学式で宣言してから、三年の月日が流れました。時の流れは、本当にはやいものです。

この三年間、みなさんは多くの経験を重ねてきました。一年次には文理選択を通して将来と向き合い、二年次には先輩として学校や部活動の中心となりました。修学旅行では、内的にも外的にも大きく世界を広げました。そして三年次には受験に立ち向かい、自分自身に挑戦しました。個人探究にも主体的に取り組めました。

楽しいことも、辛いこともありましたが、喜びも悲しみもありました。その一つひとつが、みなさんの成長の種となっていることを、心から願っています。一月に開催した個人探究発表会での堂々とした姿や、一般入試に向けて自学室で一心不乱に勉強する姿から、みなさんの確かな成長を強く感じました。

みなさんの成長に寄り添う中で、私は一つのことに気づきました。成長のお手伝いをしてきたはずの私自身こそが、みなさんによって大きく成長させてもらっていたということです。人生の大切な三年間で共有し、ともに成長できたことを、心からうれしく思います。高校三年間で培った力を胸に、自信をもって、未来へ大きく羽ばたいてください。

最後になりましたが、保護者のみなさまには、この三年間にわたり多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

3学年主任 和泉 賢一



勇気」を持ち、歩み続けていくことを誓い、これまでのご指導、ご鞭撻に深く感謝を申し上げ、答辞とさせていただきます。

令和8年3月2日

卒業生代表 円谷 紀子(郡山一中出身)



## 初めての卒業式を終えて

### 縁

人生は自分で道を切り開いているようで、様々な出逢い、そこから生まれる「縁」の連続によって成り立っている。20年前に私自身が卒業していなければ、日大東北の教壇に立つことはなかっただろうし、家族が背中を押してくれなければ、昨年度まで他の付属校で勤務していた私が母校に戻ってくることはできなかった。そして、母校に戻ってからも良縁に恵まれた。赴任初年度で3年生を担当することになり、当初は不安も大きかったが、在学中にお世話になった先生方を始めとする周囲の先生方、心優しい生徒たちにも支えられて卒業式の日を迎えることができた。

新天地でのこの1年は、すべての出会いや出来事には意味があるということを改めて痛感する1年であった。卒業生のみなさんも日大東北での様々な出逢いに感謝し、この繋がりをこれからも大切にしていこう。そして、これから各自が紡いでいく新たな「縁」を大切にしていって欲しいと思う。卒業おめでとう!

3組担任 松本 和也



### 歩み

卒業式は、その時間に区切りをつける、悲しくもあり、嬉しくもある一日でした。この3年間を思い返すと、さまざまな場面で思い浮かびます。担任として向き合ってきた時間は、目立つ出来事よりも、日常の積み重ねでした。朝の挨拶や何気ない会話、進路について真剣に悩む姿など、一つひとつが確かな時間として心に残っています。

迷いながらも選択を重ね、自分の進む道を見つけていく様子を近くで見守ることができたことは、初めて卒業生を送り出す私にとって、忘れられない経験となるでしょう。担任として十分に支えられたらどうかと自問することもありましたが、卒業式後に見せてくれた落ち着いた表情に、3年間の重みを感じました。

卒業は別れではなく、一つの節目です。この経験を胸に、私自身もまた、次の一年へ進んでいきたいと思っています。

7組担任 常松 美里



# ★ 賞状授与式 ★

令和8年2月27日(金)日本大学工学部大講堂にて、3月2日に举行される第73回卒業証書授与式に先立ち各種表彰の賞状授与式が行われた。優等賞24名、皆勤賞14名、精勤賞84名、生徒会功労賞51名、生徒会努力賞32名、日本私立中学・高等学校連合会会長賞、福島県私立・高等学校保護者会会長賞、総合探究ポスター発表会長賞、本校同窓会より三世代賞6名、アカシヤ会学業努力賞10名、アカシヤ会スポーツ・文化功労賞28名が表彰された。受賞された皆さんおめでとうございます。

※( )は出身中

## 日本大学学長賞(学業部門)

平塚 優希(郡山一)

## 日本大学優秀賞(体育部門)

小針 星砂(古殿)

## 日本大学東北高等学校校長賞

平栗 樹叶(守山)

## 総合探究ポスター発表会会長賞

石井 万結(天栄)

## 日本私立中学・高等学校連合会会長賞

円谷 紀子(郡山一)

## 福島県私立・高等学校保護者会会長賞

橋本 成央(三春)

## 優等賞

竹田 孝河(行健)	三瓶 心結(安積二)	遠藤 結(仙台広瀬)
廣瀬 大和(白河二)	橋本 真央(西田学園)	熊田 蓮大(二本松三)
古内 奏南(猪苗代)	小泉 綾(郡山四)	丹治 綺咲(本宮二)
青木柁太郎(明健)	安藤 宗久(船引)	齋藤 正弥(五箇)
菊地 美空(郡山二)	菅野 唯生(高瀬)	荒川 裕人(岩江)
澤井 翔(郡山一)	田村 大夢(稲田学園)	先崎 心美(小野)
緑川 智子(棚倉)	橋本 成央(三春)	遠藤 煌己(日和田)
橋本 暖(小原田)	大沼 和登(郡山二)	浦井 暁登(郡山一)

## 同窓会三世代賞

先崎 真央(小野)	水島 大喜(大槻)	阿部 匠(大東)
五十嵐泰心(守山)	瀧田 心美(郡山一)	松本茉那美(長沼)

## アカシヤ会学業努力賞

菊田 流雅(友部)	古川 大翔(富田)	遠藤 煌己(日和田)
星 未奈美(安積第二)	遠藤 啓志(滝根)	小野 聡子(緑ヶ丘)
林 莉華子(安積)	折笠 颯(守山)	
良田 健悟(郡山六)	渡部 瑞希(安積二)	

## アカシヤ会スポーツ・文化功労賞

安住 乃茜(郡山四)	長谷川桜介(郡山一)	大原 寧々(小原田)
石川 暖菜(白河中央)	御代田弘亮(船引)	小針 星砂(古殿)
石川 遼弥(行健)	渡部 竣也(郡山一)	本田 匠(船引)
遠藤 晴空(本宮二)	大塚 要介(富田)	遠藤 結(広瀬)
菊田 流雅(友部)	川越 琉榎(郡山五)	箭内 汐音(船引)
酒井 佑真(古殿)	佐藤 琉生(本宮一)	大矢 学永(大玉)
佐藤 志信(植田)	緑川 智子(棚倉)	齋藤 正弥(五箇)
竹田 孝河(行健)	橋本晃之進(安積二)	深沢 美帆(郡山一)
武田 璃子(会津若松一)	安藤 宗久(船引)	
樽川 脩汰(郡山六)	高木 康成(玉川)	



同窓会三世代賞



アカシヤ会スポーツ・文化功労賞

## 令和7年度日本大学付属高等学校等第42回文芸コンクール

俳句  
佳作 1年10組 加藤 小陽(小原田)

短歌  
佳作 1年 2組 黒澤 佳琳(二本松一)

詩  
特選 1年 9組 高橋 勇貴(郡山二)  
佳作 1年 2組 山田 万葉(小原田)

読書感想文  
入選 1年11組 三浦 琉生(宮城)  
佳作 1年 2組 柳沼 里咲(大越)



## 令和7年度校内文芸コンクール

俳句 最優秀 2年 8組 村上 里桜(小原田) 優秀 2年 9組 酒井 瞳(磐崎) 1年 8組 富田 真帆(白河二) 佳作 2年 8組 根本 佳乃(船引) 2年 8組 橋本 琉南(安積二) 1年 9組 伊藤 結芽(郡山七)	小説 最優秀 1年11組 伊藤 涼世(高瀬) 優秀 2年 9組 長谷川花歩(明健) 1年12組 上遠野琴羽(守山) 佳作 2年 2組 本郷 姫香(守山) 1年 1組 鈴木 泰知(二本松二) 1年12組 高信洸太郎(郡山三)	読書感想文 最優秀 1年12組 近内 正英(須賀川二) 優秀 2年 7組 菖蒲 心陽(西袋) 2年11組 遠藤 光(守山) 佳作 2年 2組 本郷 姫香(守山) 2年 5組 石井 樹里(常葉) 2年11組 猪狩 健太(郡山二) 2年11組 近内 爽馬(石川) 1年 1組 佐藤 真帆(福島三) 1年 3組 渡邊 蒼汰(玉川) 1年 5組 国分 結菜(三春) 1年 8組 富田 真帆(白河二)
---	---	--

短歌  
最優秀 2年 3組 清野 めぐみ(熱海)  
優秀 1年 4組 高橋 裕希(厚崎)

詩  
最優秀 1年 7組 宗像 佑歩(小野)  
優秀 2年10組 野木 心遥(大信)  
1年11組 吉田 陽稀(小塩江)  
佳作 2年11組 大木 悠輔(鏡石)

# TOPICS

## 12.10 Wed 日本大学工学部ミニオープンキャンパス

Iコース2年理系生徒を対象に工学部ミニオープンキャンパスが実施された。日大工学部と日大東北高校の高大連携教育により、本校生が自身の希望する学科の研究室の見学や実験室での体験を行った。キャンパスを案内した工学部の学生の中には本校の卒業生も見られ、身近な先輩から大学の魅力を知ることができる貴重な機会となった。



## 12.24 Wed クリスマスフェスタ

SAKURAホールにてクリスマスフェスタが開催された。今年も会場には多くの観客が集まった。弦楽部、合唱部、吹奏楽部がそれぞれ趣向を凝らし、クリスマスソングを披露した。また、今年は初の試みとして三部合同による演奏が行われ、部の垣根を越えた迫力あるステージとなった。客席からは自然と手拍子が起こり、出演者と観客が一体となって音楽を楽しむ様子が見られた。会場全体が温かな空気に包まれ、クリスマスらしい心に残るひとときとなった。



## 1.23 Fri 令和7年度総合的な探究の時間ポスター発表会

本校SAKURAホールにてIコース3年生による、総合的な探究の時間ポスター発表会が開催され、表彰者が決定した。

- |   |   |
|---|---|
| <p>🏆 校長賞</p> <p>「なぜ固定観念はなくなるのか」<br/>石井 万結(天栄中出身)</p>              | <p>🏆 学年主任賞</p> <p>「紙飛行機を速くに飛ばそう」<br/>神野 悠聖(安達中出身)</p> |
| <p>🏆 審査員特別賞</p> <p>「鉄分不足大日本で効率的に鉄分を摂取するには」<br/>大沼 奈乃葉(郡山三中出身)</p> | <p>「中学生に数学に興味を持ってもらおう」<br/>橋本 成央(三春中出身)</p>           |



## 1.28 Wed 薬物乱用防止教室

本校SAKURAホールにて、福島県郡山警察署生活安全課の遠藤大樹氏を講師にお招きし、1年生を対象に「薬物乱用防止」に関する講演が実施された。若者の間で急激に広がっている大麻を例に、違法薬物の使用が人体や生活に及ぼす影響をご説明いただいた。またSNSの誤った使い方が覚せい剤・大麻につながるとし、SNSの適切な使用方法についての啓蒙も行われた。



## 2.21 Sat 予餞会

記念体育館にて3年生を送る予餞会が実施された。下級生から感謝の思いがこもった動画と、16団体によるダンスや歌といったステージ発表が披露された。手拍子や歓声が飛び交い、会場は大いに盛り上がった。



## 2.22 Sun 合唱部定期演奏会

けんしん郡山文化センター大ホールにて合唱部による第4回定期演奏会が行われた。今回の演奏会は音楽創作劇も交えた4部構成となっており、「惑星そぞろ」「ささやき」「赤いスイートピー」等、全19曲が披露された。力強く美しい歌声が会場中に響き渡り、観客を魅了した。



## 進路指導部だより

### 令和7年度進路状況速報

令和8年3月8日現在



### 難関私立大学合格多数

早稲田大(1) 東京理科大(1) 明治大(2)  
同志社大(2) 青山学院大(3) 中央大(1)  
法政大(1) 明治学院大(2) 成蹊大(1)  
芝浦工大(1)  
昭和医科大医学部(1・既卒)

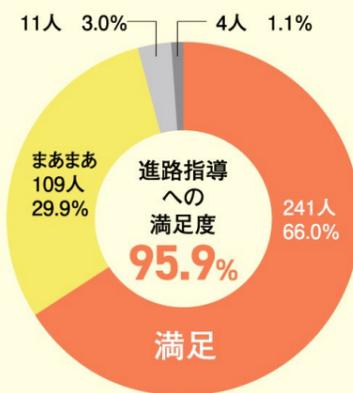
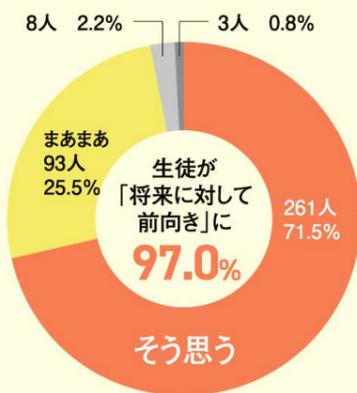
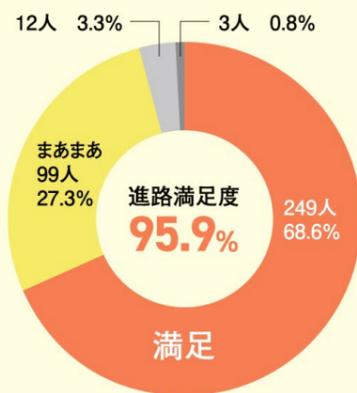
他多数

### 国公立大学合格速報

福島県立医科大医学部(1・既卒)  
福島大(4) 会津大(2) 秋田大(2)  
福島県立医大保健科学部(3) 山形大(1)  
宇都宮大(1) 宮城教育大(1) 宮城大(3)

合格者さらに増加中!後期日程の結果待ち

### 卒業生アンケート結果(Iコース)



## 学年だより

### 1 学年

1学年主任 川野 貴光



### 総合探究

総合探究の授業はIコースが火曜日の3校時、IIコースは水曜日の5校時にコースごと一斉に実施しています。

Iコースは4月から9月まで「INTERN」、10月からは「NOLTY探究基礎編」というテキストを用いて、IIコースは「NOLTY探究基礎編」から「Inspire high」というプログラムを利用して授業を進めています。探究のプログラムは、生徒が「何事にも主体的に取り組む力」を身に付けるものとなっています。

生徒が、身の回りの問題点に気づき、そのために何をするか自分で決めて、実際にやってみて、振り返ることで様々な力を身に付けることを期待しています。また、興味関心→課題設定→情報収集→整理分析→まとめ表現→振り返りをするなかで、未来を切り開く力を養って欲しいと願っています。

Iコースは、身近な疑問について調査・まとめを行う活動が多く、級友と共に探究活動を進め、楽しみながら活動する様子が見られます。2学期には職業探究プレゼン大会も経験し、表現方法も工夫がみられるようになりました。3学期は今年度のまとめとして、クラス毎の発表を行いました。

IIコースでは探究活動を進めることで「東北MIRAI会議」、「TANKYU STARTUP for youth」、「BEAU LABO Online 好奇心を今、追究しよう」、「生活の困りごとに挑む!作業療法×ものづくりのチカラ」、山形大学が主催する「ITイノベーション人材育成プログラム:SEPS2025」といった様々なプログラムに挑戦する多くの生徒がいます。日頃の学校生活に加え、このようなプログラムに自発的に挑戦していく姿は大変頼もしく感じられ、今後の学校生活が楽しみです。

2年生からは、さらに問いを深掘りしていく探究、社会との結びつきを考える探究、日本大学工学部の先生方と交流しながら進める探究(Iコース)へととなります。生徒の生き生きとした活動を楽しみにしています。

### 2 学年

2学年主任 田崎 智春



### 積み重ねが力になるとき

— 確かな歩みを胸に、次の一年へ —

間もなく2学年の一年間が幕を閉じようとしています。振り返ればこの一年は、生徒一人ひとりが「高校生としてどう生きるか」を少しずつ自分の中で形づくっていった、大切な時間であったと感じます。次に迎えるのは、進路という人生の分岐点と真正面から向き合う最高学年です。高校生活の集大成とも言える一年を前に、この2学年での歩みは、確かな土台として静かに、そして着実に積み重ねられてきました。

学校生活の至るところで、生徒たちの成長を感じる場面がありました。6月の校内球技大会では、勝敗だけにとらわれることなく、仲間を思いやり、声を掛け合いながら一つの目標に向かって力を合わせる姿が印象的でした。自分の役割を果たそうとする真剣な表情や、仲間の成功を喜ぶ笑顔から、集団の中で自分を生かす力が確かに育っていることを強く感じました。

11月の修学旅行では、インフルエンザ蔓延という予期せぬ困難に直面しました。思い通りにならない状況の中でも、生徒たちは訪問地での学習や体験に真摯に向き合い、仲間と支え合いながら行動していました。その経験は、自分自身の世界を広げると同時に、人との関わりの中で成長する貴重な機会となりました。

総合的な探究の時間では、クラスの垣根を越えた探究班を編成し、それぞれが課題意識をもってテーマに挑みました。問いに向き合い、対話を重ね、試行錯誤する中で、考えることの楽しさや協働することの大切さを学びました。その集大成として、2月に開催されたロハス探究プレゼン大会での堂々とした発表は、一年間の探究の成果そのものでした。

こうして一年を振り返ると、特別な出来事以上に、日々の授業や行事、仲間との何気ない関わりに誠実に向き合う姿勢こそが、生徒たちの成長を支えてきたのだと感じます。「雨垂れ石を穿つ」という言葉の通り、小さな努力の積み重ねは確かな力となっています。高校生活も残すところあと一年です。これまで築いてきた土台を生かし、それぞれが自らの進路を切り拓き、さらに大きく成長してくれることを心から願っています。

## 教務部だより

### 令和7年度「特別講座(Iコース3学年対象)」の実施について

本校では、毎年3年生Iコースの生徒を対象に「特別講座」を開講し、希望者が受講しています。今年度は、令和8年1月14日から27日までの期間に実施しました。本講座は、外部機関による出前講座と本校教員による学内講座の二本立てで構成されており、日常の授業とは異なる切り口から、多様な分野に触れることで、新たな視点や考え方に会うことを目的としています。また、社会との関わりや、これから大人として向き合っていく事柄について考える機会も含まれており、生徒一人ひとりが自分なりの関心を広げながら講義に参加する様子が見られました。本校では今後も、知的好奇心を大切に、視野を広げる教養に親しむ機会を提供してまいります。



教務部主任 秋山 浩樹

学内講座 塩原湖成層からの化石発掘 (和泉賢一先生)

## 2学年Iコースの探究活動について

令和7年度の2学年Iコースの「総合的な探究の時間」では、クラスの枠を超えた「ロハス探究」活動を行いました。生徒の希望によって60テーマの文理クラス混合の探究班を編成しそのテーマ全てに多様なファシリテーターの先生たち(日本大学工学部・他学部、専門学校、本校教員等)が付いて探究を行い、生徒たちは大きな刺激を受け探究内容に深みが増しました。授業「総合的な探究の時間」では、Iコース2学年担任が担当グループのメンター(お世話役)として探究の活動がうまくいくようにサポートしています。生徒たちは、探究活動の成果物として自班の探究内容をまとめた「5分間の発表動画」を1月24日に提出しました。提出された発表テーマを10の領域に分類し、それぞれの領域から代表班を選抜しました。その代表班は2月18日の「ロハス探究プレゼン大会」で口頭発表を行いました。大会にはIコース2年生だけでなくIコース1年生もZoom参加し、多くの興味深い質問や機転の利いた回答で大変盛り上がりしました。発表に対する審査も行なわれ、工学部長根本修克先生を審査委員長とする16名の審査員の先生方及び生徒が審査に関与しました。審査結果は「動物と話すには」というテーマで発表した班(リーダー:2年5組西牧いちかさん、サブリーダー:2年6組須藤大輝さん、ファシリテーター:工学部総合教育・樋口幸治郎先生)が学部長及びオーディエンス賞を「勉強していないと言ってテストの点数が高い人の心理」というテーマで発表した班(リーダー:2年5組・小野寺謙晟さん、サブリーダー:2年6組・本多星磨さん、ファシリテーター工学部総合教育・渡邊真魚先生)が校長賞を受賞しました。3月12日提出の探究の成果をまとめた「A4版1枚成果物」の提出でロハス探究活動が終了になります。



ロハス担当教員  
佐藤 睦浩

### 「ロハス探究プレゼン大会」2月18日(水)発表班

探究テーマ	探究班リーダー(出身中)	探究班サブリーダー名(出身中)	ファシリテーター名(所属)	受賞
動物と話すには	西牧 いちか(郡山一)	須藤 大輝(安積)	樋口 幸治郎(日本大学工学部)	学部長賞・オーディエンス賞
勉強していないと言ってテストの点数が高い人の心理	小野寺 謙晟(住吉台)	本多 星磨(郡山一)	渡邊 真魚(日本大学工学部)	校長賞
イケメンとハラスメント	相樂 陽愛(小塩江)	村澤 陽莉(須賀川二)	中村 千尋(日本大学東北高等学校)	2学年主任賞
薬がなくても愛があれば病気は治るのか	渡邊 心結(富田)	圓谷 奏(須賀川一)	斎藤 慶典(日本大学文理学部)	総合探究委員長
生物で動く電気自動車	本田 翔希也(瑞)	鈴木 実杏(本宮二)	遠藤 拓(日本大学工学部)	優秀賞
災害に強く環境に優しい建築	島田 悠輝(東北)	佐川 りお(富田)	ガン・ブンタラ(日本大学工学部)	優秀賞
デジタルとアナログで記憶力に影響はするのだろうか	齋藤 秀成(郡山六)	竹井 慈乃(五箇)	嵩田 聡(日本大学工学部)	優秀賞
恋愛ソングで恋は左右されるのか	星 葵(明健)	清野 めぐみ(熱海)	森 英嗣(日本大学工学部)	優秀賞
未承認国家のつくり方	本郷 姫香(守山)	長谷川 みづき(信夫)	中村 猛安(日本大学東北高等学校)	優秀賞
パッケージのデザインによる売り上げ	園分 琉生(郡山七)	本田 真唯(行健)	菅野 智子(日本大学東北高等学校)	優秀賞

(受賞順)



学部長賞



校長賞



興味深い質問や機転の利いた質問で大変盛り上がりしました

## 令和7年度 検定試験結果

### 漢字検定

受検級	準2級	2級	合計
受検者	37	42	79
合格者	9	6	15
合格率	24.3%	14.3%	19.0%

漢検は、漢字を「読む」「書く」という知識量だけではなく、漢字の意味を理解し、文章の中で適切に使える能力も測ることができます。社会人としての基礎基本となる漢字・語彙能力を鍛え、これらを通して物事を考える力を身につけるためにも、積極的に挑戦してみましょう。

### 数学検定

		3級	準2級	2級	準1級	合計
第1回	受検者	6	6	8	1	21
	合格者	6	2	1	0	9
第2回	受検者	2	8	7	0	17
	合格者	2	3	3	0	8

他の教科でも同様ですが、問題を間違えたときにどこで間違えたのか、確認する必要があります。確認できたら、なぜその間違いをしたのか検証します。ここでやっとなんて、間違えた原因や自分の知識の不足を知ることができます。正解した場合でも、なんとなく答えが出てきたときには、模範解答を見て、確認と検証を行いましょう。なにより、1つの解説を何度も読むよりも、一度解説を読んで、何度も解き直しをすることが数学の学習には有効的であると思います。くじけずに、手が解法を覚えてしまうくらい何度も解き直しをしましょう。そして、また試験に立ち向かってみてください。合格は自分の努力で掴みとることができます。

### 英語検定

		3級	準2級	準2級プラス	2級	合計
第1回	受検者	4	63	5	58	130
	合格者	3	23	1	11	38
第2回	受検者	30	2	30	62	
	合格者	5	0	5	10	
第3回	受検者	58	1	63	122	
	合格者	34	0	14	48	

今年度(2025年度)から新設級(準2級プラス)が設置され、8人の生徒が受検しました。英検に合格するためには、どの級であっても4技能(Reading, Listening, Writing, Speaking)の力が試されます。試験の結果を分析すると、語彙を身につけることが課題です。単語や熟語を知ること自身の知識や表現の幅が広がり、英語力を伸ばすことに繋がるので、日々の学習に取り入れてみてください。来年度も多くの皆さんが英検にチャレンジしていただくことを心から期待しています。

英検準1級合格  
2年 鈴木花菜さん  
(郡山第五中学校出身)

合格

本校2年の鈴木花菜さんが、実用英語技能検定(英検)準1級に合格しました。鈴木さんは、ライティング対策や語彙力の強化に重点的に取り組む、着実に実力を伸ばしてきました。英検準1級は大学中級程度のレベルとされ、合格率は約10~15%といわれる難関級です。鈴木さん、おめでとうございます。

## クラブ活動記録

### 県大会

#### 第77回福島県総合スポーツ大会水泳競技大会

水泳部[会津水泳場:7/26~27]

男子50m自由形	優勝	竹田 孝河(行 健)
	第3位	石川 遼弥(行 健)
男子100m自由形	優勝	國分 昭俊(郡山七)
男子400m自由形	優勝	國分 昭俊(郡山七)
	第2位	梅川 脩汰(郡山六)
男子50m背泳ぎ	第2位	竹田 孝河(行 健)
男子100m背泳ぎ	優勝	渡部 竣也(郡山一)
男子200m背泳ぎ	優勝	渡部 竣也(郡山一)
男子200mバタフライ	第3位	松浦 瑞久(郡山一)
男子100m平泳ぎ	優勝	水戸 煌稀(須賀川一)
男子200m平泳ぎ	優勝	水戸 煌稀(須賀川一)
男子400m個人メドレー	優勝	水戸 煌稀(須賀川一)
	第2位	梅川 脩汰(郡山六)
女子200m背泳ぎ	第3位	蓬田 虹美(守 山)
女子100m平泳ぎ	優勝	武田 璃子(若松一)
女子200m平泳ぎ	第2位	武田 璃子(若松一)
	第3位	鈴木 真寧(須賀川一)

#### 第77回福島県総合スポーツ大会水泳競技大会(飛込競技)

水泳部[AGCエレクトロニクス郡山カルチャーパーク:7/26~27]

少年男子1m飛板飛込	優勝	今野 介人(富 田)
少年男子3m飛板飛込	優勝	今野 介人(富 田)
少年男子高飛込	第2位	今野 介人(富 田)

#### 第60回福島県高等学校新人体育大会水泳(飛込)競技

水泳部[AGCエレクトロニクス郡山カルチャーパーク:8/11]

男子高飛込	第3位	今野 介人(富 田)
-------	-----	------------

#### 第77回秋季東北地区高等学校野球福島県大会

野球部[県営あづま球場他:9/11~28]

準優勝	秋山 知輝(玉 井)	大竹 徹(郡山六)	岡部 翔(郡山七)
	今野 彰人(中村一)	佐藤 伶磨(国 府)	塩田 蓮(守 山)
	中村 真(明治治)	八巻 悠希(中村一)	渡邊 賢伸(郡山七)
	渡邊純之介(原町三)	角田 琢峻(浅 川)	松井 琢真(尾張旭)
	根本 幸樹(ひら湯)	小野寺謙晟(住吉台)	大澤 周世(深 谷)
	下山 颯斗(本庄南)	高島 圭翔(佐野南)	島田 悠輝(東 北)
	天野 駿(向 陽)	小黒 尚輝(須賀川三)	長谷川 遼(児 玉)
	深澤 應介(泉 崎)	鈴木 和真(仙台中)	吉成 一喜(稲田学園)
	篠木 春翔(喜久田)	飯村 栄央(富 田)	

#### 第60回福島県高等学校新人体育大会水泳競技

水泳部[しんきん開成山プール:9/20~21]

男子総合	優勝	國分 昭俊(郡山七)
男子200m自由形	優勝	國分 昭俊(郡山七)
男子400m自由形	優勝	國分 昭俊(郡山七)
	第2位	矢吹 聖賢(郡山三)
男子100m背泳ぎ	第3位	渡邊 政(仁井田)
男子200m背泳ぎ	第3位	渡邊 政(仁井田)
男子100mバタフライ	第2位	松浦 瑞久(郡山一)
男子200mバタフライ	優勝	松浦 瑞久(郡山一)
男子200m平泳ぎ	優勝	水戸 煌稀(須賀川一)
男子200m個人メドレー	優勝	水戸 煌稀(須賀川一)
男子400m個人メドレー	第3位	許田 涼斗(郡山一)
男子4x100mリレー	優勝	國分 昭俊(郡山七)
	松浦 瑞久(郡山一)	大橋朔汰朗(西郷一)
	松浦 瑞久(郡山一)	水戸 煌稀(須賀川一)
男子4x100mメドレーリレー	優勝	渡邊 政(仁井田)
	松浦 瑞久(郡山一)	水戸 煌稀(須賀川一)
	松浦 瑞久(郡山一)	國分 昭俊(郡山七)
女子100m平泳ぎ	第2位	鈴木 真寧(須賀川一)
女子200m平泳ぎ	第2位	鈴木 真寧(須賀川一)

#### 第42回福島県声楽アンサンブルコンテスト

合唱部[會津風雅堂:12/13]

金賞 第1位、	椎根 士翔(郡山一)	中尾 実歩(宮 城)	二瓶 友那(行 健)
テレビユー福島賞	羽根田颯人(行 健)	伊藤 美結(日和)	梅木 結愛(郡山七)
	佐々木美香(郡山一)	渡邊 琴華(行 健)	齋藤 真帆(須賀川二)
	横田 桃果(須賀川二)	押田 怜華(郡山二)	折笠 慶輔(小原田)
	坂内 心優(白 沢)	大内 萌梨(二本松一)	久保田柊香(郡山三)
	近藤 樹里(表 郷)	本田 涼(常 葉)	柳沼 美心(郡山一)
	渡部 翔太(小原田)	渡邊 夕舞(安 積)	鈴木 奏人(郡山一)
	松山晴志郎(石 川)	村上 ひなた(行 健)	伊藤 結芽(郡山七)
	新田 優(郡山四)		

#### 第52回福島県ダブルステニス選手権大会(ジュニアの部)

硬式テニス部[平テニスコート:1/10~11]

女子ダブルス	第3位	柏村 綾世(矢 吹)
--------	-----	------------

#### 令和7年度福島県高等学校新人体育大会 テニス競技

硬式テニス部[平テニスコート:1/10~11]

男子ダブルス	第3位	吉原 大貴(緑ヶ丘)	菅野 拳慎(須賀川二)
女子ダブルス	第3位	久能 蒼葉(大 玉)	有馬 結奈(天 栄)

#### 令和7年度福島県高等学校新人体育大会バスケットボール競技

男子バスケットボール部[郡山市立西部体育館:1/18~1/20]

準優勝	遠藤 飛和(坂 下)	川口 樹(喜多方二)	菅野 正真(郡山三)
	佐野 響煌(喜多方二)	吉坂 健太(玉 川)	渡辺 大悟(緑ヶ丘)
	佐藤 聖哉(石 川)	面川 翔騎(須賀川一)	近藤 央河(西郷二)
	高田 真直(郡山六)	長尾 大翔(大 玉)	清野 友貴(清 水)
	飯塚 健太(一 箕)	北村 煌希(白河中央)	薄井 美音(安 積)
	吉川 心紬(行 健)	半澤 一華(緑ヶ丘)	小磯 大夢(猪苗代)
	小関 瑛大(中央南)	鈴木 泰知(二本松二)	西本 優生(小名浜一)
	橋本 湜(郡山七)	橋本 滯(小名浜二)	広川 敢生(新津二)
	町島 龍也(郡山三)	三科 徹弥(西郷二)	柳沼 奏汰(郡山三)
	矢吹悠希登(本宮一)	鈴木 丞悟(富 田)	鈴木 蒼大(白河二)
	根本 輝(郡山四)	渡邊 颯飛(大 玉)	木村隼太郎(安積二)
	鈴木 奏斗(植 田)	佐藤 敬斗(二本松三)	佐藤 悠信(湯本一)
	吉富丞汰郎(郡山七)	岸野 夢斗(富 田)	佐藤 優空(白 沢)
	大場 美海(矢 吹)		

### 東北大会

#### 第33回東北高等学校新人水泳競技大会

水泳部[セントラルスポーツ宮城G21プール:10/24~25]

男子総合	優勝	國分 昭俊(郡山七)
男子200m自由形	優勝	國分 昭俊(郡山七)
男子400m自由形	第2位	國分 昭俊(郡山七)
男子100mバタフライ	第6位	松浦 瑞久(郡山一)
男子200mバタフライ	第2位	松浦 瑞久(郡山一)
男子200m平泳ぎ	優勝	水戸 煌稀(須賀川一)
男子200m個人メドレー	優勝	水戸 煌稀(須賀川一)
男子4x100mリレー	第3位	國分 昭俊(郡山七)
	松浦 瑞久(郡山一)	大橋朔汰朗(西郷一)
	松浦 瑞久(郡山一)	水戸 煌稀(須賀川一)
男子4x100mメドレーリレー	第2位	渡邊 政(仁井田)
	松浦 瑞久(郡山一)	水戸 煌稀(須賀川一)
女子100m背泳ぎ	第4位	鈴木 真寧(須賀川一)
女子200m背泳ぎ	第6位	鈴木 真寧(須賀川一)

#### 令和7年度全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会(北海道東北ブロック予選会)

ライフル射撃部[弘前市運動公園広場特設ライフル射撃場:12/14]

BR60J	第2位	國分 佑晟(郡山五)
BR60J	第6位	巴 翔(白 沢)
BR60WJ	第8位	齋藤 菜穂(郡山三)
BR60WJ	第7位	会田 まひろ(安 積)
BP60J	第4位	鈴木 陽多(郡山三)
BP60WJ	第5位	抜木 優羽(行 健)
BP60WJ	第6位	田口 美羽(富 田)

### 全国大会

#### ジャパンオープン2025

水泳部[東京アクアティクスセンター:11/28~30]

男子400m個人メドレー	水戸 煌稀(須賀川一)
女子100m平泳ぎ	武田 璃子(若松一)
女子200m平泳ぎ	武田 璃子(若松一)

#### 第45回全国高等学校ライフル射撃選抜大会

ライフル射撃部[高知県高知県立春野総合運動公園射撃場:3/20~22]

BR60J	國分 佑晟(郡山五)
-------	------------

県大会については3位以上、東北大会は8位以上、全国大会は出場者を掲載( )は出身中